

# 費用を最大限おさえて 満足のいく葬儀に する方法

葬儀を依頼する際に  
必要な事から、  
葬儀後に必要な事まで



見積りが適正価格か  
判断するには？



プラン内容に過不足が  
ないか確認するには？

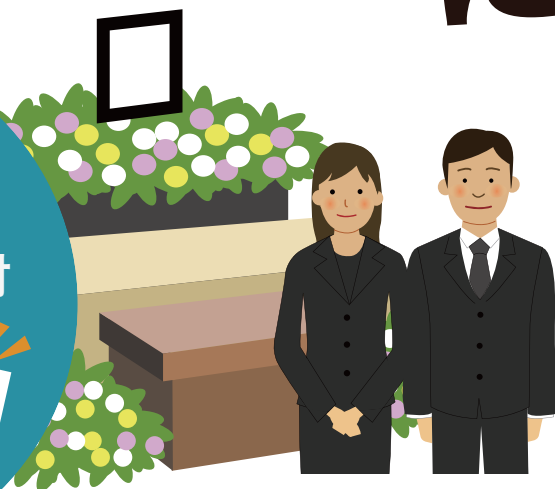


葬儀前～葬儀後までの  
準備や手順は？



参列者へ失礼のない  
対応やマナーは？

葬儀社検討時に  
必ず役に立つ  
見積書サンプル付



# はじめに

EBOOKをダウンロード頂きありがとうございます。

この資料は、家族葬と呼ばれる家族・近親者を中心とした30人程度までの小規模な葬儀を検討されている方に向けて、費用を最大限おさえて満足 of 葬儀にする方法をまとめています。

誰しも高額な費用は払いたくはないでしょうし、後悔するような葬儀にはしたくないと思うのではないのでしょうか。

そうであれば、是非ともこのEBOOKを最後までお読みください。  
なぜなら、満足 of 葬儀を行うために必要な、  
以下の4つの知識やノウハウを身に付ける事が出来るからです。

ポイント  
①

葬儀費用の基礎知識  
～見積りが適正価格かどうか見極める～



ポイント  
②

プランに必ず含むべき品目・不要な品目  
～過不足ない葬儀内容にする～



ポイント  
③

葬儀前から葬儀後に「準備すること・知っておくこと」  
～しっかりと故人を送るために～



ポイント  
④

葬儀に関する「正しい挨拶の言葉」「喪服の選び方」  
～参列者へ失礼とならないように～





ポイント  
②

## プランに必ず含むべき品目・不要な品目 ～過不足ない葬儀内容にする～

まずは実際に、必要な物が含まれていないプランをご覧ください。  
これはインターネット上にて実際に提供されているプランです。

【A 社 70 万円】		【B 社 50 万円】	
式場使用料	祭壇	式場使用料	祭壇
司会進行	遺影写真	司会進行	遺影写真
受付道具一式	白木位牌・棺・骨壺	受付道具一式	白木位牌・棺・骨壺
供物	光熱費	ご遺体の搬送	ドライアイス
エンバーミング			

赤の文字の部分は「葬儀を行うため」の品目でもあるため、  
依頼すると追加費用となる場合があります。

これらの費用を相場から計算すると、  
ご遺体の搬送(3回/4万円)+ドライアイス(1万円)=+5万円  
実際には約5万円も増額となるのです。

逆に青の文字は「葬儀に必ずしも必要ではない」品目で、  
これを省いた場合、実際には約14万円の費用を抑えられます。

このように葬儀社で異なる、  
プランに含まれる物品・サービスの内容を正しく把握することで、  
過不足のない葬儀プランにするための知識を得る事が出来ます。

ポイント  
③

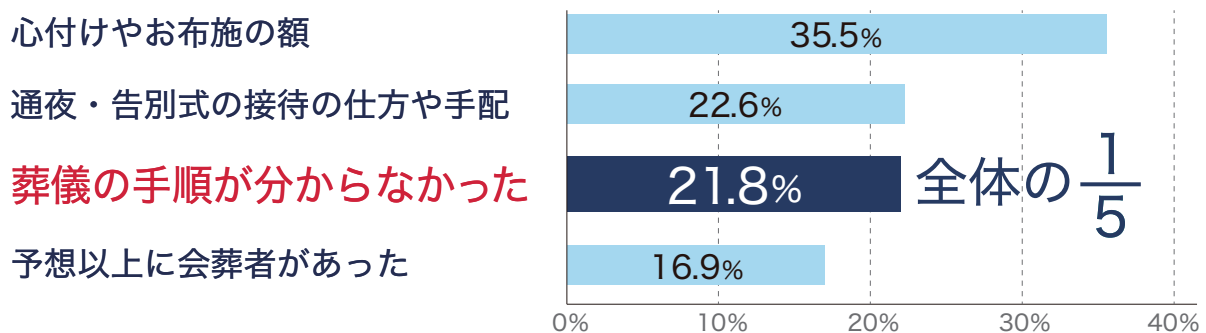
## 葬儀前から葬儀後に「準備すること・知っておくこと」 ～しっかりと故人を送るために～

葬儀は人生において何度も経験する事ではありません。  
そのため、ほとんどの方が葬儀に不慣れでしょうから、  
葬儀を円滑に進めるために、何を準備して、  
何を知っておかないといけないのかご存知ではないでしょう。

葬儀担当者から事前の説明やフォローはあるはずですが、  
果たして、大切な方を失ったショック状態の中、  
いざその時になって十分な行動ができるでしょうか。

<日本消費者協会「第11回『葬儀についてのアンケート調査』報告書  
/2017年>の中で、葬儀を経験して困ったことについて、  
全体の5分の1の人が「葬儀の手順が分からなかった」と回答しています。

### Q. 葬儀を経験して困った事はなんですか？（複数回答）



調査参考：日本消費者協会 第11回「葬儀についてのアンケート調査」  
回答：全国の葬儀経験者 811名 / 期間：平成 28年 7月～9月

故人との最期のお別れの間である葬儀を最良のものにするために、  
事前に準備できることは済ませておき、  
葬儀中に必要となることを予め把握しておくことが非常に重要だと言えます。

本書にて葬儀前～葬儀後に「準備すること・知っておくこと」を  
分かりやすく解説していきます。

ポイント  
④

## 葬儀に関する「正しい挨拶の言葉」「喪服の選び方」 ～参列者へ失礼とならないように～

葬儀に参列していただく方や僧侶に対して失礼とならないように、  
「正しい葬儀マナー」の知識は必須と言えるでしょう。

喪主の方は、葬儀を進行するにあたり、  
何度か挨拶をする機会がありますが、  
どのような挨拶をすれば良いのかご存知でしょうか。

「こういった内容の挨拶を行えば良いのか」  
「使ってはいけない言葉などの注意点はないのか」  
などの不安点を解消するだけでなく、  
各挨拶の場面で実際に使用できる例文もご紹介します。

くわえて、正しい葬儀の服装と持ち物、  
焼香の作法に関しても把握できるよう解説していきます。

.....

上記の4つのポイントは「家族葬」だけでなく、  
ご家族以外の遠い親戚・知人も呼びする「一般葬」など、  
葬儀プランに関わらず  
ノウハウとして活かしていただけるものばかりです。

ぜひ最後までお読み下さい。

.....



# 会社概要

株式会社ユニクエスト  
設立日：2006年08月01日

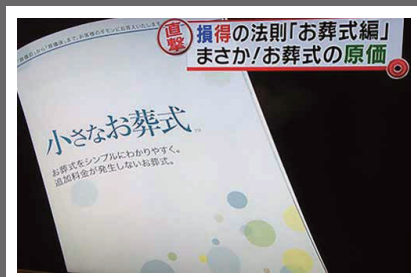
改めてEBOOKをダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。



当社はインターネットによる葬儀サービスを運営しており、「小さなお葬式」をはじめ、「てらくる」「recole -リコレ-」「OHAKO」など数々の関連サービスも運営しております。

特に、「小さなお葬式」においてはサービス開始から累計24万件※<sup>1</sup>のご依頼をいただき、年間受注件数で4年連続業界No.1※<sup>2</sup>を獲得しました。WEB葬儀サービスのパイオニアとして各種メディアで取り上げられています。

※<sup>1</sup> 2020年3月時点 ※<sup>2</sup> 2020年における葬儀受注件数に関する調査(2021年2月 TPCマーケティングリサーチ調べ)



サービスを運営していく中で得たノウハウをもとに本書を作成しています。本書が少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

みんなが選ぶ!お葬式のスタンダード

## 小さなお葬式

▶ 無料資料請求はこちら

ご相談・お問い合わせは  
24時間いつでも承ります。  
お気軽にお電話ください。

通話無料 0120-356-302



# もくじ

項目1	家族葬プランの見積書で必ず確認しなければならない事	.....P09
1-1	葬儀を行うために最低限必要なものとは	.....P10
1-2	検討すべき葬儀のオプション品目の紹介	...P12
項目2	家族葬に必要な費用	.....P13
2-1	家族葬の費用相場	.....P14
2-2	葬儀費用の内訳	.....P15
2-3	良い見積書のサンプル	.....P18
2-4	良い葬儀社の見極め方	.....P22
2-5	費用を最大限抑えて満足のいく葬儀にする方法	.....P23
項目3	家族葬の詳しい流れと喪主・遺族の役割	.....P29
3-1	「ご臨終～安置」までの流れ	.....P30
3-2	「納棺～通夜」までの流れ	...P31
3-3	「葬儀・告別式～火葬」までの流れ	...P32
項目4	葬儀前に準備すること、葬儀後に必要なこと	.....P33
4-1	葬儀前に準備すること	.....P34
4-2	葬儀後に必要なこと	.....P36
項目5	喪主・遺族のマナー「服装・挨拶・焼香・訃報連絡」	.....P39
5-1	ふさわしい服装と小物	.....P40
5-2	挨拶の例文とマナー	.....P43
5-3	焼香の作法	.....P45
5-4	訃報連絡の例文と注意点	...P46
項目6	まとめ	.....P47



## 項目1

# 家族葬プランの見積書で 必ず確認しなければならない事

.....

家族葬とは、家族やごく親しい方だけで執り行う葬儀で、一般会葬者を招かない事で費用を抑えられ、故人との最期の時間をゆっくりと過ごせるメリットのある葬送です。

ただし、家族葬のプランは、葬儀社によって内容が異なっているので、十分なプラン内容であるかを判断するための知識を身に付けましょう。

.....

## 1-1 葬儀を行うために最低限必要なものとは

冒頭でも述べた通り、同じ家族葬プランでも葬儀社によって、内容はまったく異なっています。

葬儀を行うために最低限含む必要があるものは以下の4つなので、知っておきましょう。

### ① ご遺体の搬送 2～3回分

一回あたり相場：13,000円～

ご遺体を運ぶ際の搬送費用です。

逝去から火葬するまでに2～3回の搬送が必要となります。

1回目：亡くなった病院 → 安置場所(自宅 or 安置用の施設)

2回目：安置場所 → 葬儀場

(3回目：葬儀場 → 火葬場)

プランによっては、1回分の搬送しか含んでいないことや、10km以上からは追加費用となることもあるので、事前に確認しておくとう安心です。

### ② ご遺体の安置に関する費用

ドライアイス：8,000～10,000円/日、  
安置施設使用料：3,000～20,000円/日

法律により死後24時間は火葬することはできないため、必ず遺体を安置する期間が必要となります。

安置先が自宅であればドライアイスの費用、施設であればその使用料が必要となります。

火葬を行う予定の火葬場が混んでいる場合などに、安置が長引くことがあります。何日分までの安置料金をプランに含んでいるのかを事前に確認しましょう。

### ③ 式場利用料について

式場利用料は葬儀社によって変わることはなく、施設によって料金が設定されています。

### ④ 葬儀中に必要となる費用

安置時や遺体を棺に納める際などに必要となる物品・サービスです。それぞれ、素材や商品のランクによって値段が大きく異なるため、あくまで参考程度としてください。

葬儀中に必要となる物品	費用相場
枕飾り一式	10,000 ～ 15,000 円
お棺	30,000 ～ 80,000 円
骨壺	3,000 ～ 200,000 円
遺影写真	15,000 円～
人件費・葬儀運営費等	30,000 ～ 100,000 円

「葬儀一式」などとまとめられている場合には、上記の物品がすべて含まれているか確認しましょう。

上記の表から分かる通り、物品によってかなり費用の幅があります。葬儀社によっては物品のランクについて、「安いから故人にとって良くない」「故人のためを考えればランクアップした方が良い」などと、高額になるよう勧めてくる場合があります。

故人を想う気持ちが一番重要なので、ランクを上げる必要があるかをしっかりと判断して下さい。

## 1-2 検討すべき葬儀のオプション品目の紹介

プランに含まれている物品やサービスの中には、希望する葬儀には unnecessary なものがあったり、逆に不足していることがあります。

主要なオプション品目を紹介するので、ご自身に必要なか一度、検討してみましょう。

### ■湯灌(ゆかん) [30,000～60,000円]

故人の遺体をお棺に納める前に、遺体を入浴させたり死化粧をする儀式です。湯灌を実施しなくても病院にてご遺体を清潔にする処置はしてくれるので、特別必要なものではありません。親族と相談のうえ、必要か判断しましょう。

### ■エンバーミング [140,000円前後]

ご遺体を損傷や腐敗から修復し、綺麗な状態で長期保存するための技術です。「死亡後、期間を置かず(一週間以内)に火葬する予定」「ご遺体に感染症や損傷などない」という場合には不要なものです。

### ■道案内や斎場前に設置する看板 [1枚あたり 2,000円前後]

近親者だけで行う小規模な家族葬だからこそ、外部へ知らせるための看板を省くことができます。プランに最初から含まれていることも多いようですが、値引きがされるようであれば取り除くことも検討しましょう。

定額パックで提供されいてるプランの場合には、上記の品目を省くと申し出ても、値引きされない可能性がある事は知っておきましょう。

## 項目2

# 家族葬に必要な費用

.....

家族葬の費用相場や費用の内訳を知って、事前にどの程度の金額を用意しなければならないのかを把握しておきましょう。

.....

## 2-1 家族葬の費用相場

葬儀にかかる費用平均は、一般的な葬儀では約195万円※1に対して、家族葬では約115万円※2という調査結果がでています。

※1 第11回「葬儀についてのアンケート調査」日本消費者協会調べ ※2 2017年エンディングデータバンク調べ、1都3県の場合

費用が6割程度となる理由は下記の3つです。

- 1 参列者が近い関係の方だけで小規模なため、大きな会場や祭壇を手配しなくてよい
- 2 参列者数によって増減する、食事・返礼品に関する費用を抑えることができる
- 3 インターネットを中心に広まったプランであるため、価格競争が起きている

しかし、インターネット上で見かける家族葬のプランは50万円前後が多いのにもかかわらず、なぜ相場が115万円前後となってしまうのでしょうか。

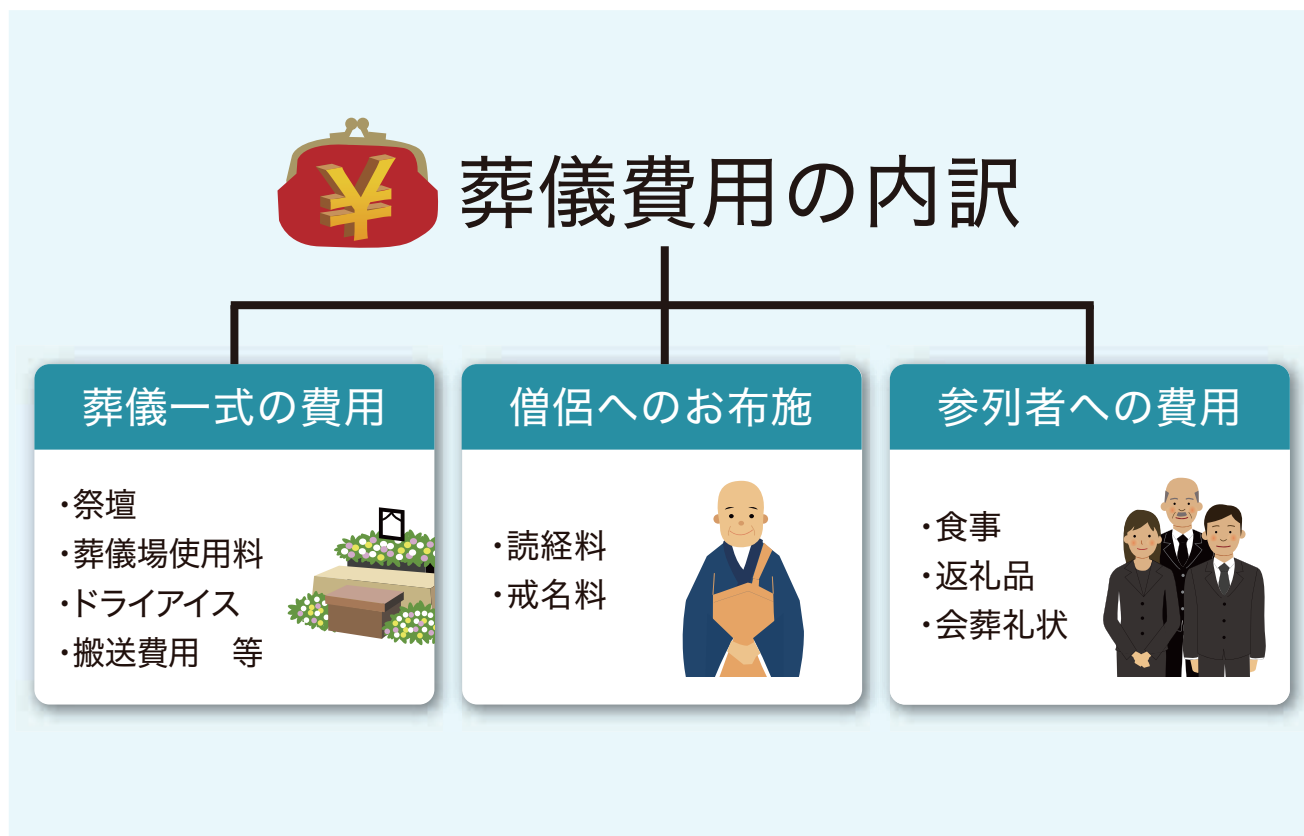
実は、ほとんどの場合、家族葬プランの費用だけでは葬儀を行うことができないためです。

次項で葬儀費用の内訳を詳しく見ていきましょう。



## 2-2 葬儀費用の内訳

まずは、葬式の費用とはどのように構成されているのかを確認して下さい。



上記の図で示した通り、お葬式の費用は大きく分けて

「葬儀一式の費用」「僧侶へのお布施」「参列者への費用」

この3つで構成されています。

それぞれで必要となる費用を紹介しましょう。

### ① 葬儀一式の費用

通夜や告別式などの儀式をおこなうのに必要となる物品一式や、各施設の使用料がこれに含まれています。

## ② 僧侶へのお布施

葬儀の場で、読経や戒名を授与する際のお布施となる費用です。  
菩提寺の有無により、この費用は大きく異なります。  
それぞれの費用を見てみましょう。

(菩提寺とは代々お世話になっているお寺の事です。)

### ■菩提寺がある場合

戒名授与に関するお布施の金額は、戒名に存在する「ランク」や宗派によって異なり、読経と戒名授与のお布施を合わせて、全国平均で47.3万円※と非常に高額です。

戒名のランクは下記の通りです。価格はランクや菩提寺によって異なります。

戒名の階級					一般価格の一例
一般的	こじ	だいし	いんしんし	いんしんによ	42万円※
	居士・大姉、院信士・院信女				
高位	しんし	しんによ			
	信士・信女				
	いんしゃく	いんしゃくに	いんにちしんし	いんにちしんによ	
	院釋・院釋尼、院日信士・院日信女				
	いんこじ	いんだいし			
	院居士・院大姉				

※第11回「葬儀についてのアンケート調査」日本消費者協会調べ

### ■菩提寺がない場合

菩提寺がなくても、葬儀社へ相談すれば手配をしてもらえます。  
その場合、僧侶へ渡すお布施費用にくわえて、手配料が上乗せとなる可能性があります。

お布施費用を抑えたいのであれば、インターネットから寺院の手配サービスを利用すると良いでしょう。

金額があいまいで高額なお布施が、定額で提供されており、  
読経と戒名授与を合わせて、6～18万円程度が相場となっています。

### ③ 参列者への費用

参列していただいた方への、お食事や返礼品の費用です。  
一人当たり、5,000～10,000円程度が目安で、  
参列者の数で費用は変わります。

上記の3つの費用を合計したものが、  
葬儀をおこなうのに必要な費用となり、  
結果、家族葬の費用相場である、115万円前後となるのです。



## 2-3 良い見積書のサンプル

ここまで紹介してきた、家族葬のプラン内容と費用の内訳を踏まえて、  
良い見積書とは、いったいどんなものか実際に見ていただきます。

まずはAとBの見積書のサンプルをご覧ください。  
それぞれの画像をクリックすると拡大表示されます。

## 見積りサンプルA

[illegible]

▶ 拡大表示して見る

## 見積りサンプルB

品名	単位	数量	単価	金額	消費税
1 家賃					
2 敷金返還					
3 礼金返還					
4 借主1人					
5 借主2人					
6 借主3人					
7 借主4人					
8 借主5人					
9 借主6人					
10 借主7人					
11 借主8人					
12 借主9人					
13 借主10人					
14 借主11人					
15 借主12人					
16 借主13人					
17 借主14人					
18 借主15人					
19 借主16人					
20 借主17人					
21 借主18人					
22 借主19人					
23 借主20人					
24 借主21人					
25 借主22人					
26 借主23人					
27 借主24人					
28 借主25人					
29 借主26人					
30 借主27人					
31 借主28人					
32 借主29人					
33 借主30人					
34 借主31人					
35 借主32人					
36 借主33人					
37 借主34人					
38 借主35人					
39 借主36人					
40 借主37人					
41 借主38人					
42 借主39人					
43 借主40人					
44 借主41人					
45 借主42人					
46 借主43人					
47 借主44人					
48 借主45人					
49 借主46人					
50 借主47人					
51 借主48人					
52 借主49人					
53 借主50人					
54 借主51人					
55 借主52人					
56 借主53人					
57 借主54人					
58 借主55人					
59 借主56人					
60 借主57人					
61 借主58人					
62 借主59人					
63 借主60人					
64 借主61人					
65 借主62人					
66 借主63人					
67 借主64人					
68 借主65人					
69 借主66人					
70 借主67人					
71 借主68人					
72 借主69人					
73 借主70人					
74 借主71人					
75 借主72人					
76 借主73人					
77 借主74人					
78 借主75人					
79 借主76人					
80 借主77人					
81 借主78人					
82 借主79人					
83 借主80人					
84 借主81人					
85 借主82人					
86 借主83人					
87 借主84人					
88 借主85人					

▶ 拡大表示して見る

※サンプルは実際にいくつかの葬儀社に見積もりを取り、特定できない形で加工しています。

※P20、P21にも見残りサンプルAとBの画像があります。

いかがでしょうか。




Aのサンプルは内容が不明瞭だと感じませんか？

それに対してBのサンプルは、  
詳細に内容や内訳が記載されていて非常に分かりやすいですね。

つまり見積もりサンプルAは内容が不明瞭なため、  
必要な物品やサービスが含まれていない可能性があり、適正価格なのかの判断がつきにくく、後に追加費用を請求される危険性があるのです。

逆に見積もりサンプルBは詳細に内訳が記載されており、  
物品やサービスの精査もしやすくなっています。

良い見積書は具体的に下記の3点が当てはまるので、  
必ず確認しておきましょう。

-  過不足なく非常にシンプルで見やすい
-  「搬送費」の詳細を別項目にしてわかりやすくしている
-  変動となる供養品や食事は別小計にしている

実際に葬儀社へ見積もりを取る際には、  
必ず比較できるよう複数社から取るようにしてください。

AとBの見積書のサンプルを掲載いたします。

# <見積もりサンプルA>

## お 見 積 書

作成日 平成26年3月11日

ご住所

電話

喪主様

故人 (続柄)

葬儀委員長

ご納棺

飾り付け

式 場

御通夜

告別式

火葬場

宗 旨 仏式

お見積合計金額(税抜)①+②+③+④ ¥480,000

品名	種別	数量	金額
葬儀プラン	家族葬パック		¥480,000
霊柩車	クラウン	市内	含む
火葬料	大人	市民	含む
随伴自動車			未定
会葬礼状		30枚	含む
遺影写真	四つ切	カラー	含む
ドライアイス	2回分		含む
祭壇盛物			含む
御骨箱	中骨	1組	含む
納棺用品	仏衣	一式	含む
御棺			含む
中陰祭壇			含む
司会	告別式	1名	含む
式場案内係		1名	含む
斎場案内係		1名	含む
式場使用料		2日	含む
ご安置料			未定
小計①			¥480,000

供 養 品			
品名	種別	数量	金額
通夜供養品	500~		未定
当日供養品	500~		未定
粗飯料	3000~		未定
その他			
小計④			

サ ー ビ ス 部			
品名	種別	数量	金額
女子接待係	通夜		含まれません
女子接待係	当日		含まれません
写真撮影			
寝台自動車	病院~自宅		市内基本料金含む
貸衣装			
ガードマン			
新聞広告			
湯灌			
お料理			
小計②			

供 花 部			
品名	種別	数量	金額
大柗榴			
祭壇装飾追加			
ご供花	親族一同	1対	含む
電飾提灯			
電飾蓮			
盛かご			
小計③			



# <見積もりサンプルB>

2014年 03月 19日

様

葬儀一式費用 金 502,950円也

下記の内容にてご請求させていただきました。

NO	種 別	内 容	数 量	単 価	金 額	消費税
1	家族葬					
2	ご搬送費	ご死亡地→ホール搬送	1	11,000	11,000	550
3	ご搬送費	ホール→斎場搬送	1	15,000	15,000	750
4	経帷子1式	仏衣他 お旅仕度	1	7,000	7,000	350
5	ドライアイス	10℃・1回ご処置	1	8,000	8,000	400
6	白木位牌	大・小セット	1	3,000	3,000	150
7	お 柩	白木桐張り棺	1	45,000	45,000	2,250
8	納棺の儀	着付け有り	1	10,000	10,000	500
9	ご遺骨収容器	5寸中骨	1	5,000	5,000	250
10	ご遺影写真 大・小	カラー・引き伸ばし	1	15,000	15,000	750
11	斎場収骨スタッフ	1日・1人	1	10,000	10,000	500
12	ホール専任スタッフ	2日・2人	4	10,000	40,000	2,000
13	ホール使用料	2日間	2	40,000	80,000	4,000
14	祭壇設営費	生花アレンジ祭壇	1	80,000	80,000	4,000
15	火葬料金	京都市内ご在住	1	15,000	15,000	750
16	火葬許可申請	代行	1	0	0	0
17	受付用品		1	0	0	0
18		小 計			344,000	17,200
19	その他追加事項					
20	お供養品	2日間ご使用	30	500	15,000	750
21	お食事 通夜終了後	お寿司	30	1,500	45,000	2,250
22	お食事 葬儀終了後	お弁当	30	2,500	75,000	3,750
23		小 計			135,000	6,750
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
小 計					479,000	
消費税					23,950	
合 計					502,950	

## 2-4 良い葬儀社の見極め方

葬儀を依頼する際の判断材料は見積書だけではありません。  
葬儀社自体が安心して依頼出来るかどうかも見極める必要があります。

安心できる葬儀社を見極めるポイントとして、下記の3つのポイントを踏まえて判断しましょう。

### ① 地元の葬儀社なら訪問して接客態度を確認する

葬儀もサービス業のひとつです。多少の手間はかかりますが、事前相談として実際に訪問することで、サービスの質を測る事が出来ます。

ただし、担当者次第で大きく変わる可能性があるのも、良い対応をしてもらえたのであれば、その人の名刺を頂いておきましょう。

訪問できない場合は電話対応もひとつの目安とできるでしょう。

### ② こちらの希望に沿った提案をしてくれているか

葬儀はお客様の希望に沿って進めるものです。

優良な葬儀社であれば、当然こちらの要望を聞き、それに対する提案をしてくれることでしょう。

最初から押し付けるような形で提案してくるところは注意が必要です。

### ③ やり取りの中で分からない言葉が出たら必ず質問する

葬儀で扱う物の多くは聞き慣れないのが当たり前なので、分からない言葉が出たら恥ずかしがらずに、必ず「どんなものなのか」「本当に必要なのか」「いくらするのか」を確認するようにしましょう。

不明瞭な部分を残したまま合意してしまうと、後にトラブルとなる可能性もあります。

また、トラブルを避ける以外に「親身にしっかりと答えてくれたかどうか」も判断材料となるでしょう。

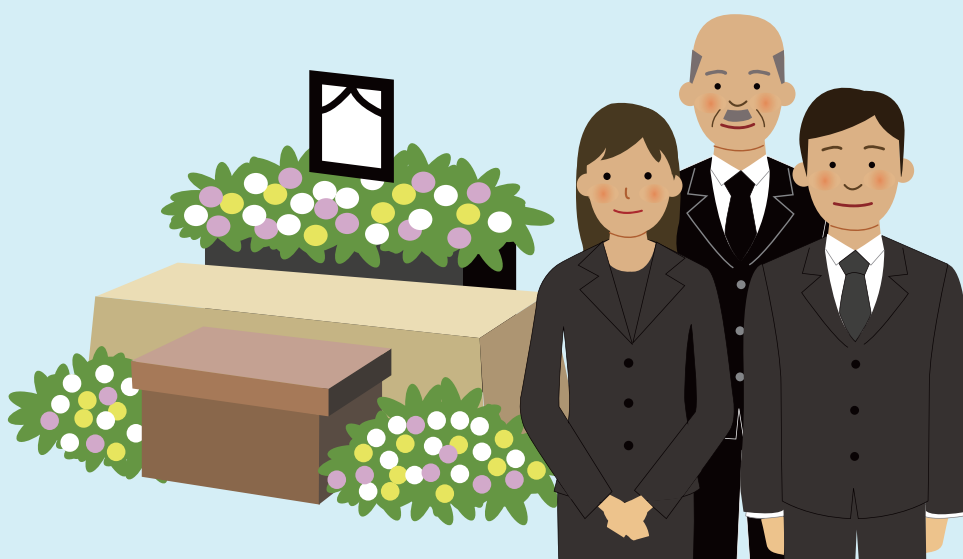
## 2-5 費用を最大限抑えて満足のいく葬儀にする方法

ここまで価格やプランについて説明してきましたが、  
「結局、どんなプランにして、どう決めていけば費用を抑えて満足のいく葬儀になるのか」と悩まれるのではないのでしょうか。

そこで葬儀サービスを提供している私達が考える、  
「費用を最大限抑えて満足のいく葬儀」にするための、  
具体的な葬儀プランの決め方と内訳、その費用を紹介したいと思います。

### 今回想定する葬儀の内容

- ・家族葬プランを希望
- ・菩提寺はなし
- ・参列者 20名を想定  
(弊社・他社サービスでの家族葬参列数の平均)



# 葬儀内容の決め方

## ① 依頼時はインターネットで葬儀を提供しているサービスを利用する

葬儀を依頼する方法は大きく分けて、以下の2つがあります。

- 地元の葬儀社を探して依頼する方法
- インターネットから葬儀を提供しているサービスに依頼する方法

おすすめは、断然後者の「インターネットから依頼できる葬儀サービス」です。その理由は、インターネット上では価格やプランの充実度の競争が日々起きているために適正なプランとなっている可能性が高いためです。

その多くが、前述の「葬儀一式の費用」をセットプランとして提供しているため、費用が明確な点も安心できるポイントです。

## ② 搬送料やドライアイス料など変動費用の条件を確認する

インターネットで葬儀を提供する多くの提供先が、葬儀のセットプランを提供していますが、全ての提供先で葬儀に必要な物品・サービスを含んでいるとは限りません。

変動品目となる遺体の搬送料(距離で料金が変わる)や、ドライアイスなどの遺体保存用の費用(日数で変わる)は、必ずプランの内容で十分かどうかを確認して下さい。

ここでは弊社サービスの条件である、搬送距離50km以内、ドライアイス4日分はプラン料金に含まれるものとします。

## ③ 寺院の手配もインターネットから行う

金額設定が非常に不明瞭なお布施においても、インターネット手配型であれば、はっきりと金額が明示されるだけでなく、費用は3分の1程度に抑えることができます。

※ インターネット手配型では手配される寺院の質も重要であるため、事前に派遣される宗教者の宗派や資格などの確認を取りましょう。



# 葬儀プランの内訳と総費用

今回想定したプランは、P10～11の「葬儀を行うために最低限含む必要のあるもの」の内容を含んだプランです。

## 家族葬に想定した物品やサービス

お迎え  
ご安置



寝台車  
(病院～安置場所)



ドライアイス  
(4日分)



ご安置料金



枕飾り一式

納棺



お棺



仏衣一式



お棺用布団



役所・火葬場  
手続代行

通夜式  
告別式



寝台車  
(安置場所～葬儀場)



葬儀場利用  
料金



生花祭壇  
(幅2m・2段)



遺影写真  
セット



焼香セット



受付セット



司会スタッフ



運営スタッフ

火葬



寝台車  
(葬儀場～火葬場)



骨壺・骨箱

式後



自宅飾り一式



白木位牌



線香・ろうそく



会葬礼状(30枚)

それでは弊社サービスを参考に、上記を踏まえて葬儀を依頼した場合に、実際に依頼可能な金額で計算してみましょう。

費用名目	詳細	費用
家族葬プラン費用	インターネットの葬儀サービスを利用	449,900 円
僧侶へのお布施	菩提寺なし、インターネットから手配	180,000 円
変動・追加費用	食事・粗供養品 (5,000円 × 30人分)	165,000 円
合計		816,900 円

※火葬料金は別途お客様負担となります。

先ほど家族葬の相場は115万円前後と紹介しましたが、上記のたった3つの決め方に沿って葬儀プランを絞れば…

**家族葬の相場費用と比べて、  
333,100円も安くする事が出来ます！**





さらにお通夜・告別式を行わない火葬のみの簡素なお別れを希望されているならば、直葬という形式をお勧めします。

葬儀の費用自体を安くでき、さらに儀式を行わないため、僧侶へのお布施や食事・返礼品の費用を抑える事が出来ます。

## 直葬プランで想定した物品やサービス

お迎え～ご安置 納棺 火葬～式後	 <p>寝台車</p>	 <p>ドライアイス</p>	 <p>ご安置料金</p>	 <p>枕飾り一式</p>
	 <p>お棺</p>	 <p>仏衣一式</p>	 <p>お棺用布団</p>	 <p>役所・火葬場手続代行</p>
	 <p>寝台車</p>	 <p>お別れ用花束</p>	 <p>骨壺・骨箱</p>	 <p>運営スタッフ</p>

以下に、弊社サービスをもとに直葬を選択された場合の金額を計算したものを記載します。

費用名目	詳細	費用
直葬プラン費用	インターネットの葬儀サービスを利用	200,900円
合計		200,900円

※火葬料金は別途お客様負担となります。

上記でお分かり頂ける通り、

**直葬であれば、およそ20万円で葬儀を行う事が出来ます。**

インターネットの葬儀サービスを利用すれば、  
かなり費用を抑えられるという事をお分かりいただけましたでしょうか？  
ただし、利用する際は必ずプラン内容を確認し、  
葬儀に必要な物品・サービスがプラン内に含まれているかどうか確認した上で選びましょう。

## 家族葬をご検討されている方は、 「小さなお葬式」へお任せ下さい。

小さなお葬式は、

- ・お葬式に必要な物品・サービスがプラン内に含まれています。
- ・深夜早朝問わず、24時間いつでも全国で対応可能です。
- ・お葬式の際、お勤めを行う僧侶も定額料金で手配可能です。  
※宗教者は資格の有無など身元確認を行った上で手配させていただいています。
- ・家族葬を中心にお客様の状況・ご要望に合わせたプランをご用意しています。



通夜・告別式を少人数で

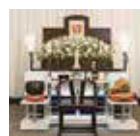
### 小さなお葬式

ご搬送 ▶ ご安置 ▶ 通夜式 ▶ 告別式 ▶ 火葬

セット  
プラン

**429,000** 税抜  
円

税込471,900円



告別式のみを一日で

### 小さな一日葬

セット  
プラン **329,000** 税抜  
円  
税込361,900円



式をせず火葬のみ

### 小さな火葬式

セット  
プラン **189,000** 税抜  
円  
税込207,900円

▶ 資料請求はこちら

専用のコールセンターがお客様の疑問にお応えします。  
24時間いつでも直接お電話でのご相談も可能です。

通話無料

**0120-356-302**

# 家族葬の詳しい流れと 喪主・遺族の役割

.....

実際に葬儀の流れを把握し、さらに喪主・遺族としての役割を理解しておく事で、いざという時に慌てる事なく当日を迎える事が出来ます。

ここでは実際の葬儀の流れを、大きく3つに分け、その時々、喪主・遺族の方がしなければならないことも併せて紹介していきます。

各場面で必要となる挨拶の例文や注意点、宗派別の焼香の作法については、P39～詳しく紹介しています。

.....

①  
ご臨終

お亡くなりになった病院の医師より死亡診断書が交付されます。  
もし自宅で急に亡くなった場合には、のちに検死が必要となりますので、救急車を呼び、救急隊員の指示に従いましょう。  
ここで受け取った死亡診断書は、死亡届や火葬許可証の受け取りに必要となります。その手続きは葬儀社が代行してくれます。

②  
葬儀社へ連絡

死亡診断書が発行されたら、  
事前に見積もりをしていた葬儀社へ連絡をします。  
連絡から到着まで、30分～1時間程度となります。

③  
ご遺体の搬送

葬儀社が到着したら、ご遺体を安置する場所まで搬送します。  
安置先を自宅か安置用の施設にするかは、  
下記のようなポイントから決めることになります。

- ◎ 最後に自宅に連れ帰ってあげたい
- ◎ 自宅に十分なスペースがない・搬送することが難しい
- ◎ 遺体の損傷が激しく自宅での安置が困難
- ◎ 安置施設で付き添うのには別料金が発生することがある

④  
安置

ご遺体を安置したら、葬儀社と葬儀の日程や式場の決定、  
宗派の確認などの打ち合わせを行います。  
その他、菩提寺がある場合には、  
ご逝去の連絡とともに読経などお勤めの依頼を行います。

## ⑤ 納棺

通夜が行われる前に、30分ほどかけて納棺の儀が行われます。死装束と呼ばれる衣装を着せ、棺の中へご遺体を納めます。この時、故人が好きだったものを副葬品として棺にいますが、不燃物などの有毒ガスが発生するものは納めることができません。葬儀担当者に確認のうえ納めましょう。

## ⑥ 通夜・通夜ぶるまい

多くの場合、18時頃から開始となり1時間程度の通夜式となります。その後、通夜ぶるまいと呼ばれる、参列者をもてなす会食の場があります。こちらも1時間程度でお開きとします。

喪主となる方は、2時間前には式場へ到着するようにし、式の最中には下記のことを行う必要があります。

- ◎ 受付の対応を行い香典を受け取る受付係となる方の選定
- ◎ 読経をしていただく僧侶が到着したら挨拶とお布施を渡す
- ◎ 焼香終了後の挨拶
- ◎ 通夜ぶるまいの開式と閉式の挨拶

16:00	17:30	17:40	18:00～	18:45	19:00～		20:00
会場に集合(遺族・親族)	受付開始(会葬者) 僧侶到着	一同着席	僧侶入場 読経・焼香	喪主挨拶	通夜ぶるまい		終了
			通夜		通夜ぶるまい		

## ⑦ 葬儀・告別式

近親者だけで行われるお別れの儀式が葬儀、一般の参列者によるものが告別式と呼ばれますが、最近では合わせて行われるのが一般的です。

13時ごろから行われることが多く、遺族や親族は開始時間の1時間前に集合し、会葬者の受付をします。

喪主・遺族の方は、通夜式と同様に、焼香の作法を把握しておく必要があります。

12:00	12:30	12:40	13:00～	13:40～	14:30～
会場に集合 (遺族・親族)	僧侶到着 受付開始 (会葬者)	一同着席	僧侶入場 読経・焼香	喪主挨拶	終了
			葬儀・告別式		

## ⑧ 出棺

故人との最後の別れの間として、棺へお花と副葬品を納めます。

お花を入れる順番は、[喪主]→[近親者]→[一般参列者]となります。

喪主は遺影を持ち、棺を霊柩車に乗せた後、参列者に向かって挨拶を行います。

## ⑨ 火葬

火葬場へ到着すると、火葬炉の前に棺が置かれ、そこで、故人の顔を見る最期の機会となります。すぐ近くにある焼香台にて焼香を行い、火葬炉へ入る際には、全員で合掌して見送ります。



# 葬儀前に準備すること、 葬儀後に必要なこと

.....

葬儀はいつやってくるのかわからないため、いざという時に何をすれば良いのか分からなくなるものです。

事前に準備する事を知っておけば、悲しみの中考える負担を減らす事ができ、スムーズに葬儀の準備を進めていけるでしょう。

また、葬儀以外にも法要など、喪主や遺族がしなければならない事はたくさんあります。

葬儀直後は心身ともに疲れていることから次の準備の事は考えにくいものなので、併せて葬儀後に必要な準備についても紹介します。

.....

## 4-1 葬儀前に準備すること

希望する葬儀を行うためには、葬儀場の条件決めや、喪主の決定、菩提寺への連絡など、葬儀前に様々な準備をする必要があります。スムーズに葬儀の準備を進めていくためにも、しっかりと確認しておきましょう。

### 喪主の決定

葬儀を主導で進める喪主となる方を決定しておきましょう。

[配偶者]→[長男]→[次男]→[長女]→[次女]の順で、喪主の候補となります。

ただし、故人の希望があった場合や、葬儀での様々な対応が難しい場合には、上記の限りではありません。

### 訃報連絡をする方の連絡先リストをつくる

参列していただく方のリストアップは事前に済ませておきましょう。

いざ葬儀となると冷静に考えることができずに、呼ぶべき方の見落としが起る可能性があります。

その際、事情を把握されている親戚の方に、代わりに訃報連絡をしてもらうことも考えておくといいでしょう。

**家族葬を行う際の訃報連絡は、一般的な葬儀を行う場合と異なります。**

※詳しくはP46「5-4.訃報連絡の文例と注意点」で紹介しています。

### 菩提寺への連絡

法要の予約は先着順で決まるため、葬儀を行うことが決定した時点で、菩提寺へ読経依頼の連絡をいれましょう。

戒名が必要な場合には、この時にあわせて伝えます。

## 受付係を依頼する方の決定

葬儀に参列された方の受付をする役割であり、香典の管理も任せることになるので、信頼できる方をお願いしましょう。

## 遺影選び

遺影で使用する写真や写真のデータを用意します。スーツなどを着ている写真がなくても、葬儀社により合成してもらうことができます。しかし必ずスーツを着なければいけないという決まりはなく、その方らしさを表すのに、普段着や笑顔の写真を用いるのも良いでしょう。

 [詳しくはこちら](#)

## 希望する葬儀場の条件

葬儀社から葬儀場の候補を提案してもらえますが、希望する葬儀場の条件を考えておくと良いでしょう。  
具体的には、「遠方からの参列者が多いから駅から近いところ」、  
「立派な設備の葬儀場が良いのでなるべく新しいところ」などです。

## 喪服や数珠などの用意

手元にある場合でも、実際に着用したうえでサイズなど問題ないか確認しましょう。  
最後の項目で男女別の、喪主・遺族に適した喪服と小物の紹介をしています。

## 4-2 葬儀後に必要なこと

葬儀が終わった後も、供養に関することや、故人の身の回りの整理など、様々なことを行う必要があります。

### 四十九日法要の手配

逝去後におこなう、最も重要な法要の一つである、四十九日法要の手配が必要か検討しましょう。

もし必要であれば、僧侶に法要の予約をするとともに、参列してもらう方達へ早めの通知を行う必要が出てきます。

その他、四十九日法要に続けて、本位牌や仏壇への魂入れ、お墓への納骨手配も必要か検討しておきましょう。

 詳しくはこちら

### あいさつ回り

葬儀の翌日からなるべく早い間に、町内会などの葬儀でお世話になった各所へお礼に回ります。直接会って挨拶するのが難しい場合は、電話にて伝えるようにしましょう。

挨拶では、以下のように葬儀に参列して頂いたお礼を述べます。

この度は、  
お忙しい中会葬くださいまして誠にありがとうございました。  
主人もさぞ喜んでいました。  
また、当日は取り込んでおりまして、ろくに挨拶もできず大変失礼いたしました。  
何かと不行き届きな点もあったかと思いますが、今後ともご指導賜りますよう、  
よろしくお願い申し上げます。

## ✓ 各種名義変更

車や保険、銀行などの名義変更を行う必要があります。

事前にリストを作成しておくのも良いでしょう。

特に注意が必要な事として、銀行に対して亡くなったことを伝えたと同時に口座が凍結され、お金を引き出すことができなくなる点です。後に手続きをすれば、凍結解除は可能ですが、相続人全員の合意が必要となり大きな手間となります。

事前に以下の確認と、手続きは済ませておく良いでしょう。

- ◎ 公共料金の引き落とし変更
- ◎ 生活費などの必要な費用の引き出し

## ✓ 費用負担を軽減してくれる2つの補助金制度

葬祭費の一部を国が負担してくれる制度があり、これらを利用すればさらに葬儀費用を抑える事が出来るので、ぜひ覚えておいてください。

対象者	支給額	申請時期	申請先
国民健康保険 加入者	1 ～ 7 万円	死後 2 年以内	住民票のある 役所・役場
社会保険加入者	5 万円	死後 2 年以内	社会保険事務所
(加入者の扶養家族)	(5 万円)		

※自治体によって支給額は異なります。

## ✓ 遺産相続に関する手続き

遺産の相続を進めたり、亡くなった方が行う予定であった確定申告を行う必要があります。

その他、愛用していた品を近親者に贈る、形見分けも行われることがあります。

▶ 詳しくはこちら

葬儀前に必要な事は、葬儀社からアドバイスを受けながら進めていけるので  
抜け漏れが起きにくいのですが、  
葬儀後に必要な事は、葬儀を終えて心身ともに疲れた状態なので、  
抜け漏れが起きやすいので注意しましょう。

初めての葬儀でもご安心下さい！  
葬儀前から葬儀後まで、  
「小さなお葬式」がトータルにサポートさせていただきます！

小さなお葬式は、

- ・お葬式に必要な物品・サービスがプラン内に含まれています。
  - ・深夜早朝問わず、24時間いつでも全国で対応可能です。
  - ・お葬式の際、お勤めを行う僧侶も定額料金で手配可能です。
- ※宗教者は資格の有無など身元確認を行った上で手配させていただいています。
- ・家族葬を中心にお客様の状況・ご要望に合わせたプランをご用意しています。



通夜・告別式を少人数で

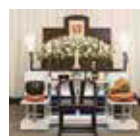
## 小さな家族葬

ご搬送 ▶ ご安置 ▶ 通夜式 ▶ 告別式 ▶ 火葬

セット  
プラン

**429,000** 税抜  
円

税込471,900円



告別式のみを一日で

## 小さな一日葬

セット  
プラン

**329,000** 税抜  
円

税込361,900円



式をせず火葬のみ

## 小さな火葬式

セット  
プラン

**189,000** 税抜  
円

税込207,900円

▶ 資料請求はこちら

専用のコールセンターがお客様の疑問にお応えします。  
24時間いつでも直接お電話でのご相談も可能です。

通話無料

**0120-356-302**



## 項目5

# 喪主・遺族のマナー 「服装・挨拶・焼香・訃報連絡」

.....

葬儀に参列して頂いた方に失礼とならないよう、相応しい服装・挨拶は把握しておく必要があります。

加えて葬儀中の作法に関するマナーも、非常識だと思われないよう心得ておきましょう。

.....

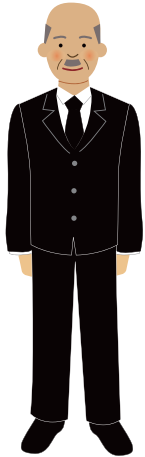
## 5-1 ふさわしい服装と小物

男女・子供ごとに葬儀にふさわしい服装を紹介していきます。  
まずは、**共通して気を付けなければならない点**を把握しておきましょう。

### 服装に関する禁止事項

- ☒ ネクタイをゆるめたり  
上着を脱いだりすることは控えましょう。
- ☒ 足袋の色は白で、派手な色を使わないようにしましょう。  
(地方によっては黒)
- ☒ 生足は厳禁。肌色か黒のストッキングを履きましょう。
- ☒ 透けた素材やノースリーブなど  
「肌の露出が多いもの」は避けましょう。
- ☒ 毛皮や皮革製の衣類の着用してはいけません。  
殺生を連想させるためです。
- ☒ 遺族はコートを着用してはいけません。
- ☒ ネックレス、カフスなどのアクセサリー類、  
金具のついたものは基本的に身につけてはいけません。  
パールのものであれば可。
- ☒ 靴も装飾や金具が目立つデザインは避けましょう。

## 男性の服装



### ■洋装（ブラックスーツ）

通夜式では略式喪服であるブラックスーツを着用し、通夜式から葬儀・告別式を通してブラックスーツでも問題ありません。

冠婚葬祭用以外の普通のブラックスーツは避けましょう。黒のジャケットに白のワイシャツ、黒のズボンを着用します。ネクタイや靴下、靴は黒色にしましょう。

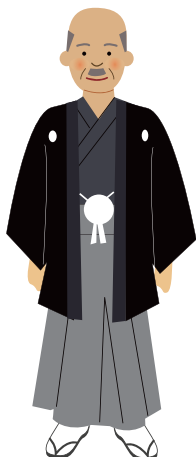


### ■洋装（モーニング）

正式喪服のモーニングジャケットに黒いベストを着用します。ズボンは黒とグレーストライプの縞ズボンを着用します。

黒のネクタイをし、靴下も靴も黒にしましょう。

※モーニングジャケットは昼間の礼装なので、夕刻に行われる通夜式ではブラックスーツを着用します。



### ■和装

羽二重などの黒無地染め抜き五つ紋付きの着物と羽織に、仙台平の袴が正式です。

襦袢は羽二重の白か鼠色です。

足袋は白か黒、草履は黒の鼻緒です。

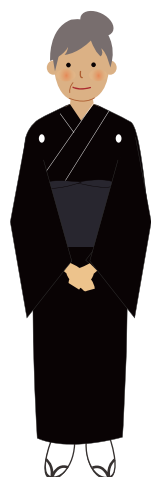
※通夜式ではブラックスーツを着用します。

## 女性の服装



### ■洋装

黒色のフォーマルドレスで、スーツ、ワンピース、アンサンブルのいずれでもかまいません。袖は夏でも長袖かなるべく長めのものにし、襟元が詰まったもの、丈は膝が隠れるくらい長いものにします。ボタンやレースが地味なものを選び、バッグや靴も地味なものにします。光るボタンやバッグは避けます。



### ■和装

黒無地染め抜き五つ紋付き、黒無地の丸帯が正式です。着物生地は、羽二重か一越ちりめん、夏は絹になります。羽織は着用せずに、草履や帯揚げなどの小物は黒で統一し、足袋と襦袢は白にします。

## 子供の服装

男女問わず、学生服がない場合は、黒や紺、グレーなどの地味な色の服で構いません。

ただし、ジーンズやTシャツなどカジュアルなものは避け、えりつきのシャツにズボンかスカートを合わせ、その上にジャケットを着るようにしましょう。

## 5-2 挨拶の例文とマナー

喪主・遺族として、葬儀の中で挨拶をする場面が何度かあります。  
その場面ごとに適した挨拶例文や、使用してはいけない言葉などの注意事項を紹介します。

### 使用してはいけない言葉（忌み言葉）

- ☑ 不幸を重ねる言葉を避ける … たびたび、ますます、くれぐれも
- ☑ 死を連鎖させる言葉 … 続いて、再び、追って
- ☑ 生死に関わる言葉 … 死ぬ → 亡くなる / 生きていた時 → 生前

## 場面ごとの例文

### 僧侶が到着時の挨拶

お忙しいところご足労いただきありがとうございます。  
通夜(葬儀)は定刻通りに始めたいと思いますので、  
よろしくお願いいたします。

### 通夜焼香終了後の挨拶

本日はお忙しい中、大変ありがとうございました。  
(故人の名前)も皆様の御厚情の程を感謝している事と存じます。  
明日の葬儀・告別式は○時からで御座います。宜しくお願い致します。  
尚、お時間の許されるお方はごゆっくりしていただけますようお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

## 通夜ぶるまいの開式挨拶

本日はお忙しい中、わざわざお越しいただきまして誠にありがとうございます御座いました。

またご丁寧に、お供えまで頂戴致しまして恐縮でございます。

故人は生前、ここにお集まりの皆様に変にお世話になっており、ご出席いただきまして事をさぞ喜んでいる事と存じます。

ささやかながらお食事の用意をさせていただきましたので、故人の話などをお聞かせいただきたく存じます。

## 通夜ぶるまいの閉式挨拶

本日は突然のことであつたにもかかわらず、  
弔問いただきまして、誠にありがとうございました。

夜も更けてまいりましたので、本日はお開きとさせていただきます。

皆様の温かいお話に、さぞかし故人も喜んでいることと思います。

明日の葬儀・告別式につきましては、〇時より〇〇にて執り行います。

何卒よろしくお願い申し上げます。

## 告別式終了時の挨拶(出棺時)

本日はお忙しい中、(故人の名前)の葬儀にご参列賜りありがとうございます御座いました。

残された私どもに対しましても、今後とも変わらないご指導とご厚誼を賜りますよう、お願い申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。

## 読経後に僧侶へお布施を渡す際の挨拶

ご多用中のところ、おつとめを賜り、ありがとうございました。

おかげさまで、無事葬儀を執り行うことができました。

些少ではございますが、どうぞお納めください。

※お布施を渡す際は、葬儀社が用意してくれるお布施袋にお布施を包み、  
切手盆とよばれるお盆に乗せ、僧侶から見て正面となるように差し出します。



## 5-3 焼香の作法

### 焼香の手順

①

焼香台に進み遺影と僧侶に向かって一礼し、お香を3本指でつまむ。



②

頭を軽く下げ、つまんだ手を額の高さまであげる。  
※これを「押しいただく」と言います。



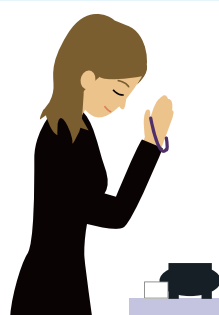
③

指をこすりながらお香を静かに香炉に落とす。



④

遺影に向かって合掌した後、遺影と僧侶に向かって一礼し、席に戻る。



### 宗派ごとの焼香回数

宗派	お焼香回数
浄土宗	押しいただいて1回または3回
真言宗	押しいただいて1回から3回
浄土真宗	額に押しいただかず1回、または2回
曹洞宗	押しいただいて通常2回

お焼香の回数は宗派によって異なります。  
まず最初に僧侶が焼香をするのでその通りに行うと良いでしょう。

## 5-4 訃報連絡の例文と注意点

故人が亡くなったことを伝えるための訃報連絡ですが、家族葬は一般葬と違って、限られた方だけに参列してもらう必要があります。訃報連絡の内容の中で、その旨がきちんと伝わるように注意しましょう。

### 参列していただく方への訃報連絡例文

父〇〇はかねて病氣療養中でしたが、〇月〇日〇〇分死去しました。  
ここに生前の御厚情を感謝し謹んでお知らせ申し上げます。  
なお故人並びに遺族の意向として、葬儀は近親者のみで家族葬を執り行います。  
つきましては、通夜および葬儀・告別式は下記のとおり執り行われます。  
ここに、故人の御冥福をお祈りし、謹んでお知らせ申し上げます。

通夜 〇月〇日(〇)午後〇時より 式場・住所・電話  
葬儀・告別式 〇月〇日(〇)午後〇時より 式場・住所・電話  
喪主 〇〇〇〇

### 参列はご遠慮いただく方への訃報連絡例文

父〇〇はかねて病氣療養中でしたが、〇月〇日〇〇分死去しました。  
ここに生前の御厚情を感謝し謹んでお知らせ申し上げます。  
なお故人並びに遺族の意向として、葬儀は家族葬を執り行いますので、  
通夜・葬儀へのご参列はお控えいただきますようお願い申し上げます。  
尚、香典・供花等につきましても固くご辞退申し上げます。

どうか私どもの気持ちをお汲み取りいただき、  
何卒ご配慮のほどお願い申し上げます。  
喪主 〇〇〇〇

## まとめ

いかがだったでしょうか。

「費用を最大限おさえて満足のいく葬儀にする方法」と題して、  
家族葬を行うために必要なすべてのことを紹介してきました。

上記のことを把握し実践することは、少し大変かもしれませんが。  
しかし、どれも最良の葬儀にするためには必ず必要となることばかりです。

このEBOOKをぜひ活用していただき、故人様との最期をゆっくりとお過ごしいただけたらと思います。

## 🔍 最後に

最後まで読んでいただきましてありがとうございます。  
これからも「小さなお葬式」や、その他のメディアを通じて  
皆様のお役に立てるよう情報を発信して参ります。

今後とも何卒よろしくお願い致します。

### 「小さなお葬式」のサービス紹介



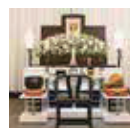
通夜・告別式を少人数で

#### 小さな家族葬

ご搬送 ▶ ご安置 ▶ 通夜式 ▶ 告別式 ▶ 火葬

セット  
プラン

**409,000円** 税抜  
税込449,900円



告別式のみを一日で  
**小さな一日葬**

セット  
プラン **309,000円** 税抜  
税込339,900円



式をせず火葬のみ

**小さな火葬式**  
セット  
プラン **169,000円** 税抜  
税込185,900円

▶ 資料請求はこちら

法事・法要の定額寺院手配



▶ 詳しくはこちら

リコレ  
recole

あなたらしい供養のかたち

▶ 詳しくはこちら

納骨方法・納骨場所の  
検索・紹介サービス



▶ 詳しくはこちら

専用のコールセンターがお客様の疑問にお応えします。  
24時間いつでも直接お電話でのご相談も可能です。

通話無料

**0120-356-302**